

目次

Lembar Pengesahan	ii
Pernyataan Bebas Plagiat	iii
要旨(日本語版)	iv
要旨(英語版)	v
要旨(インドネシア語版)	vi
前書き	vii
謝辞	viii
目次	ix
第1章 序章	1
1.1 はじめに	1
1.2 研究目的と意義	1
1.3 本論文の構成	3
第2章 先行研究・基礎的理論の考察	5
2.1 先行研究	5
2.2 基礎的理論	6
2.2.1 誤用分析に関して	6
2.2.2 母語転移に関して	7
2.2.3 仮説	8
2.3 時を表す語の意味と、その用法	9
2.3.1 「今」、「今日」、「今回」、「今から」、「今まで」の 意味定義	9
2.3.2 “sekarang”と”hari ini”に関する意味定義	21
2.3.3 ”now”と”today”に関する意味定義	23
2.4 収集した誤用例と誤用パターン	25
第3章 研究手法と理論	28
3.1 研究手法と理論	28
3.2 質問アンケート、対象者	29

3.2.1 予備調査に関して	29
3.2.2 本調査に関して	35
第4章 研究結果と分析	41
4.1 予備調査の結果と分析	41
4.2 本調査の結果と分析	53
4.3 分析結果まとめ	74
第5章 誤用に対する対策と今後の課題	78
5.1 誤用に対する対策	78
5.2 今後の課題	81
参考文献	83
Summary	85